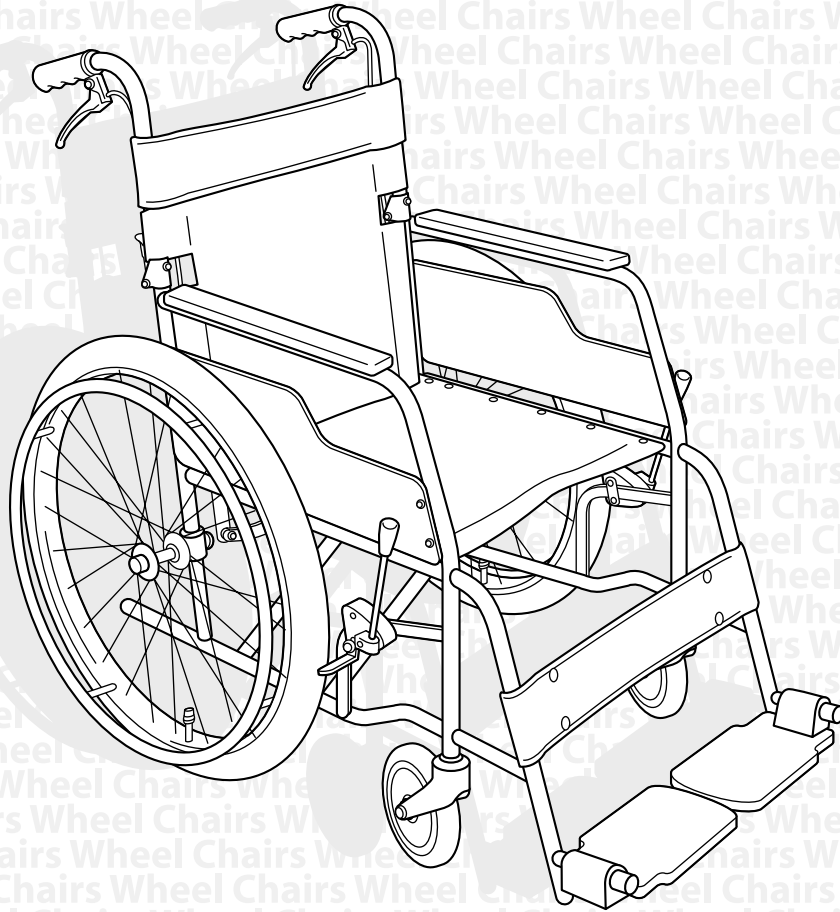


マツナガの車いす

アルミニウムシリーズ

取扱説明書

保存用
保証書付



MATSUNAGA

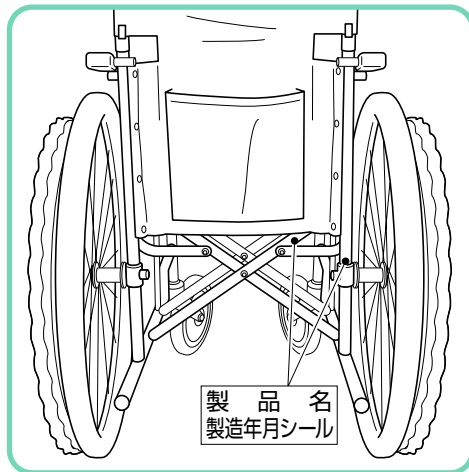
このたびは、(株)松永製作所製品の車いすをお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書には、お客様が安全に正しくご使用していただくために必要な注意事項や正しい使い方が説明されています。ご使用になる前には、必ずお読みください。また、保証書が付いておりますので紛失しないように大切に保管してください。

車いすが、あなたの身体に合わない状態で乗らないでください。
健康をそこなう恐れがあります。そのような場合は、購入されたお店、かかりつけの病院にご相談ください。

購入された製品の機種名をご確認ください。
機種名は、下記位置に表示してあります。

次に2ページの各機種別機能一覧にて
お探しください。



- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱い説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または、直接弊社までお問い合わせください。

目次

各機種別機能一覧	2
安全にお使いになるためのご注意	4
各部の名称	6
自走タイプ	6
リクライニングタイプ	7
安全にお使いになるための使用方法	8
ブレーキの使用方法	8
広げ方・折りたたみ方	9
車いすの広げ方法	9
車いすの折りたたみ方	10
リクライニングタイプの広げ方法	11
リクライニングタイプの折りたたみ方法	12
各操作のしかた	13
バックレストリクライニング	13
レックサポートエレベータリング	14
レックサポートスイングアウト	15
アームレスト取り外し	15
アームレスト跳ね上げタイプ	16
安全ベルト	17
フットプレートの調整	17
使用方法	18
乗り方・降り方	18
動かし方	19
ご使用の前に	20
介助の仕方	21
外出時の注意	22
もしこんなトラブルが発生したときは	24
車いすのお手入れの方法	24
保管場所	25
SGマークについて	25

各機種別機能一覧

	自 走 用	介 助 用	背 固 定	背 折 り た た み	エ ア ー キ ャ ス タ	デ ス ク	肘 脱 着	肘 跳 ね 上 げ	ス イ ン グ ア ウ ト	エ レ ベ ー テ ィ ン グ	リ ク ラ イ ニ ン グ	キ ャ リ パ ー	フ ツ ト ブ レ ー キ	キ ャ ス タ ー (<small>インチ</small>)	大 車 輪 (<small>インチ</small>)	全 高 (<small>m/m</small>)	全 長 (<small>m/m</small>)	全 巾 (<small>m/m</small>)	折 り た た み 巾 (<small>m/m</small>)	重 量 (<small>kg</small>)
MW-1	●		●											7	24	910	1010	630	310	12.2
MW-1U	●		●		●									7(U)	24	910	1010	630	310	12.3
MW-1D	●		●			●								7	24	910	1010	630	310	12.2
MW-1DU	●		●		●	●								7(U)	24	910	1010	630	310	12.3
MW-1F	●			●										7	24	910	1010	630	310	12.3
MW-1FU	●			●	●									7(U)	24	910	1010	630	310	12.4
MW-1DF	●			●		●								7	24	910	1010	630	310	12.3
MW-1DFU	●			●	●	●								7(U)	24	910	1010	630	310	12.4
MW-2	●		●											7	24	885	1010	630	310	12
MW-S2	●		●											7	24	885	1010	630	310	12.1
MW-2U	●		●		●									7(U)	24	885	1010	630	310	12.1
MW-2D	●		●			●								7	24	885	1010	630	310	12
MW-2F	●			●										7	24	885	1010	630	310	12.1
MW-S2F	●			●										7	24	885	1010	630	310	12.1
MW-S2FB	●			●								●		7	24	885	1010	650	330	12.4
MW-2FU	●			●	●									7(U)	24	885	1010	630	310	12.2
MW-2DF	●			●		●								7	24	885	1010	630	310	12.1
MW-2FU	●			●	●									7(U)	24	885	1010	630	310	12.2
MW-S3	●		●											6	22	865	990	630	310	11.8
MW-3	●		●											6	22	865	990	630	310	11.8
MW-3D	●		●			●								6	22	865	990	630	310	11.8
MW-S3F	●			●										6	22	865	990	630	310	11.9
MW-S3FB	●			●								●		6	22	865	990	650	330	12.2
MW-3F	●			●										6	22	865	990	630	310	11.9
MW-3DF	●			●		●								6	22	865	990	630	310	11.9
MW-4	●		●											6	22	855	985	630	310	11.6
MW-4F	●			●										6	22	855	985	630	310	11.7
MW-5	●		●				●							7	24	885	1010	630	310	12.5
MW-5F	●			●			●							7	24	885	1010	630	310	12.6
MW-6	●		●							●				7	24	910	1035	630	310	13.0
MW-6F	●			●						●				7	24	910	1035	630	310	13.8
MW-7	●		●				●			●				7	24	910	1035	630	310	13.1
MW-7F	●			●			●			●				7	24	910	1035	630	310	13.2
MW-8	●		●				●							6	22	865	990	630	310	12.3
MW-8F	●			●			●							6	22	865	990	630	310	12.4
MW-10	●		●						●					7	24	885	1010	630	310	12.4
MW-10F	●			●					●					7	24	885	1010	630	310	12.5
MW-11	●		●				●		●					7	24	885	1010	630	310	12.5
MW-11F	●			●			●		●					7	24	885	1010	630	310	12.6

	自 走 用	介 助 用	背 固 定	背 折 り た た み	エ ア ー キ ャ ス タ	デ ス ク	肘 脱 着	肘 跳 ね 上 げ	ス イ ン グ ア ウ ト	エ レ ベ ー テ ィ ン グ	リ ク ラ イ ニ ン グ	キ ャ リ パ ー	フ ツ ト ブ レ ー キ	キ ャ ス タ ー (イ ン チ)	大 車 輪 (イ ン チ)	全 高 (m/m)	全 長 (m/m)	全 巾 (m/m)	折 り た た み 巾 (m/m)	重 量 (kg)
MW-12	●		●											7	24	890	985	630	310	11.8
MW-12U	●		●		●									7(U)	24	890	985	630	310	11.9
MW-12F	●			●										7	24	890	985	630	310	11.9
MW-12FU	●			●	●									7(U)	24	890	985	630	310	12.0
MW-13	●									●	●			7	24	1270	1130	630	310	17.0
MW-13D	●									●	●			7	24	1270	1130	630	310	17.0
MW-14		●								●	●			7	16	1270	1065	560	240	15.2
MW-14D		●								●	●			7	16	1270	1065	560	240	15.2
MW-15		●	●									●		7	16	890	965	560	240	10.2
MW-15U		●	●		●							●		7(U)	16	890	965	560	240	10.3
MW-S15F		●		●								●		7	16	890	965	560	240	10.3
MW-S15FB		●		●								●		7	16	890	965	590	270	10.6
MW-15F		●		●								●		7	16	890	965	560	240	10.3
MW-15FU		●		●	●							●		7(U)	16	890	965	560	240	10.4
MW-17F		●		●								●		6	14	900	955	580	240	10.5
MW-18F		●		●				●				●	●	7	16	890	965	520	240	11.7
MW-18FU		●		●	●			●				●	●	7(U)	16	890	965	520	240	11.8
MW-19	●		●											6	22	890	985	630	310	12.0
MW-19F	●			●										6	22	890	985	630	310	12.1
MW-20F		●		●								●		6	12	920	915	560	240	10.2
MW-22F		●		●				●	●			●	●	7	16	890	965	520	240	11.9
MW-23F		●		●				●				●	●	6	14	860	970	540	240	11.5
MW-24F		●		●				●	●			●	●	6	14	860	970	540	240	11.7
MW-27	●		●						●					6	22	865	990	630	310	12.5
MW-27F	●			●					●					6	22	865	990	630	310	12.6
MW-28	●		●				●		●					6	22	865	990	630	310	12.6
MW-28F	●			●			●		●					6	22	865	990	630	310	12.7
MW-29	●		●						●					6	22	855	985	630	310	11.8
MW-29F	●			●					●					6	22	855	985	630	310	11.9
MW-30F	●			●										6	22	865	990	580	310	12.2
MW-31F	●			●				●						7	22	890	985	580	310	13.1
MW-32F	●			●				●	●					7	22	890	985	580	310	13.3
MW-33F	●			●				●						6	22	865	990	580	310	13.0
MW-34F	●			●				●	●					6	22	865	990	580	310	13.2
MW-LX1	●			●										6	22	865	990	630	310	12.5
MW-LX2		●		●										7	16	890	965	560	240	11.0
MW-CF	●			●										5	20	820	880	560	310	11.6
MW-1E	●			●										6	22	860	980	595	310	12.0
MW-E2		●		●										6	12	860	940	510	200	10.0

安全にお使いになるためのご注意

安全に正しくご使用していただく為の重要なことです。その意味はつぎのようになっていきますので、必ずお読みいただき、内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。表示内容を無視して、誤った取扱いをした場合に生じる危険や損害の程度を説明しています。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることおよび物的損害の発生する可能性が想定されることを示しています。

お守りいただく内容の説明

	この表示は、してはいけない「 禁止 」内容です。		この表示は、必ずしていただく「 強制 」内容です。
--	---------------------------------	--	----------------------------------

警告	
(禁止) しては いけない	<ul style="list-style-type: none"> ■タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。 ブレーキのロックが出来なくなり、車いすが動いたりして、事故の原因となります。 ■バックレスト折りたたみのロックレバーに、かばんなどを引っ掛けないでください。 ロックが解除され転倒、転落事故の原因となります。 ■フットプレートの上に乗って、乗り込んだり、降りるとき上に立ち上がらないでください。 (車いすが、バランスを崩し、転倒事故の原因となります。) ■故障、異常のあるときは、使用しないでください。 事故、転倒などによるケガの原因となります。 ■改造しないでください。 改造によって車いすの部品の破損、脱落などで安全性が低下して事故、転倒の原因となります。
(強制) 必ずして いただく	<ul style="list-style-type: none"> ■車いすに乗る・降りる前や、ベッドへの移乗時には、ブレーキをロックしてください。 車いすが動き、転倒事故の原因となります。 ■バックレスト折りたたみのロックピンが、「カチッ」と音がして、完全に出ているのを確認してください。 転倒事故の原因となります。 ■リクライニングの角度調整をする時は、ブレーキをロックしてください。 車いすが動いたりして、転倒事故の原因となります。 ■リクライニングレバーを左右同時に握りながら角度調整してください。 転倒事故の原因となります。 ■坂道の登り下りの時は、介助者の方が支えて行ってください。 スピードが出たり、バランスが不安定になり、転倒、転落事故の原因となります。 ■道路の通行は、必ず右側を通行してください。(歩道がある場合は歩道を通行してください。) 道路交通法規を守らないと、交通事故の原因となります。 ■踏切等の溝を乗り越える時は、必ず介助者の方に支えていただいで行ってください。 車輪が溝にはまって転倒事故の原因となります。

注意

(禁止)



しては
いけない

- バックレストに重いものを引っ掛けないでください。車いすが不安定になり、転倒事故の原因となります。
- 車いすを広げる時に、座パイプの横や下に、手や指を入れないでください。
パイプに手や指を挟んでケガをします。
- リクライニング車いすの連結バーを外したまま、使用しないでください。
- リクライニング車いすのヘッドレストを外したまま、使用しないでください。
- リクライニング車いすの連結バー・ヘッドレスト部を持って、走行しないでください。
- アームレスト脱着・跳ね上げ式の場合は、アームレストを持って、車いすを持ち上げないでください。
以上のような、使用をされますと転倒・転落事故の原因となり大変危険です。
- スピードが出ている状態で、素手でハンドリングを持って減速しないでください。
摩擦で、手にケガをする恐れがあります。
- 車輪が回転しているときは、スポークに手や指を差し込まないでください。
手や指をはさんで、ケガをする原因となります。
- タイヤを持って車いすを操作しないでください。ブレーキに手があたり、ゲガをする原因となります。
- バックしながら、急停止しないでください。転倒事故の原因となります。
- 凹凸のある路面で使用するときは、上体を前かがみ姿勢にならないでください。
バランスを崩し、前に転倒して事故の原因となります。
- 火気の近くに置かないでください。タイヤがパンクしたり、シートが燃え火災の原因となります。
- バックレストパイプのみで、キャスター(前輪)を上げないでください。
バックレストパイプが曲がったり、折れたりして、転倒して事故の原因となります。
- スピードをつけて、乗りこえようとししないでください。
使用者が車いすから、転落して事故の原因となります。
- バックレストが折りたたみの場合は、使用者が車いすに乗っている状態でグリップを持って吊り上げないでください。パイプが、外れたりして、転倒・転落事故の原因となります。
- 車いすのシートの上で立ち上がらないでください。
- 走行中、身体を乗り出さないでください。バランスが不安定になり、転倒、転落事故の原因となります。

(強制)



必ずして
いただく

- 介助者の方は、キャリパーレバーを両側同時にかけてください。
バランスを崩し、転倒事故の原因となります。
- 車いすを広げた時、座パイプが、受けに収まっているか、確認して座ってください。
パイプが曲がったりして、転落事故及び故障の原因になります。
- リクライニングの連結バーのノブネジは、確実に固定してください。
外れて、転倒、転落・事故原因となります。
- リクライニングのヘッドレストロックを確実にかけてください。外れて、転倒、転落・事故原因となります。
- 必ずヘッドレストを取り付けてご使用ください。パイプ差込口で手や頭にケガをする原因となります。
又、フレーム強度が低下し、破損の原因となります。
- エレベータリングのフットプレートに足が乗った状態で調整する場合は、フットパイプをしっかり
支えて行ってください。ロック解除時に、手をパイプに挟んでケガをする原因となります。
- スイングアウトをもどしたときは、ロックが確実にされているか確認してください。
足を乗せたとき、外れて足をケガする原因となります。
- アームレスト跳ね上げを、もどしたときは、ロックレバーのピンが完全にロックされていることを確認
してください。転落事故の原因となります。
- 安全ベルト装着機種は、必ずシートベルトを締めてください。衝撃などで転落し事故の原因となります。
- 安全ベルトのマジック式は、糸くずや汚れを取り除いてください。
(粘着力が弱くなり衝撃を受けた時外れ転落事故の原因となります。)
- フットプレートが固定されているか、確認してから使用してください。
ステップが脱落し事故の原因になります。
- フットプレートの高さは地面より5cm以上でご使用ください。
路面の凹凸や障害物にフットプレートが引っかかり急に車いすが止まり、転倒の事故の原因になります。
- 乗り降り、駐車は平坦な場所で行ってください。
(車いすが動いたりして、バランスを崩し、転倒・転落事故の原因となります。)
- 坂道を下るとき介助者の方は、車いすを後ろ向きでゆっくり確認しながら走行してください。
前向きで下ると、乗っている人がすり落ちたり、前のめりとなり、転倒事故の原因となります。
- 側溝の格子蓋、踏み切りのレール溝にキャスターが落ち込まないように注意してください。
車いすが急に止まり使用者の体が前方に傾き、転落転倒事故の原因となります。

各部の名称

自走タイプ

グリップ

介助者が押すために使用します。

キャリパーブレーキ

介助者がスピードを調節するために使用します。

ブレーキの種類 P.8

駆動輪(自走型)

主輪(介助型)

駆動を伝える車輪

ハンドリム

自走型で駆動輪を操作するとき、使用します。

テッピングレバー

キャスターを上げたりするため介助者が足で踏むとき使用します。

ブレーキ

乗り降りの時、車いすが動かないようにする為に使用します。

ブレーキの種類 P.8

キャスター(前輪)

ソリット・スーパーがあります。

バックレストパイプ

固定式と折りたたみ式があります。

拡げ方・折りたたみ方 P.9~10

バックレスト(背)

背をもたれかけるところです。

アームレストパッド

肘を乗せるところです。

アームレスト

取り外し・跳ね上げタイプ P.15~16

シート(座)

座るところです。

フットプレート

足をのせるところです。

フットプレートの調整 P.17

レッグレスト

足が後方に落ちないように保護します。

レッグパイプ

スイングアウト・挙上式(エレベーター) P.14~15

レッグサポート

リクライニングタイプ

ヘッドレスト

肩から頭部にかけて、もたれかけるところです。

☞ 拡げ方・折りたたみ方 P.11~12

リクライニングレバー

バックレストの角度を調節する時
使用します。

☞ リクライニング操作 P.13~14

フットレストエレベーター

角度を調節できます。

まくら

頭を支持するのに使用します。

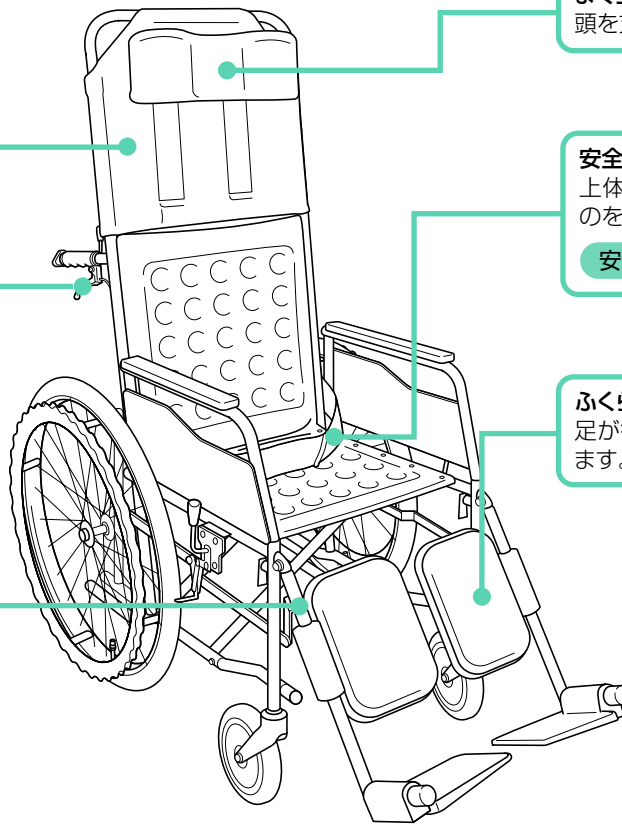
安全ベルト

上体がずり落ちたり倒れたりする
のを、防止します。

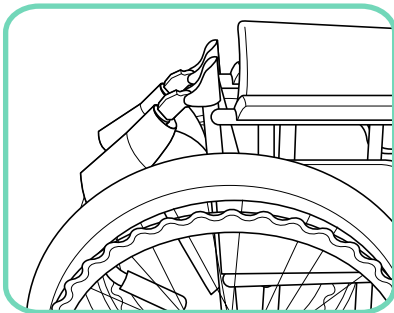
☞ 安全ベルトの装着 P.17

ふくらはぎパット

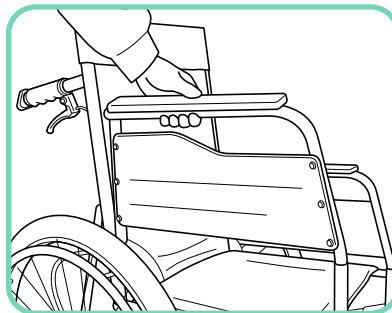
足が後方に落ちないように保護し
ます。



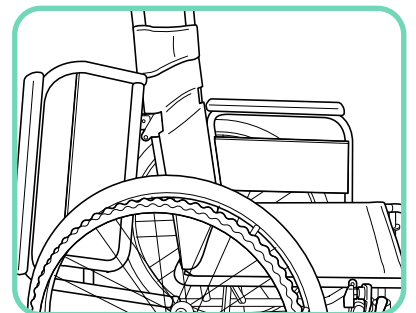
(バックレスト折りたたみ式)



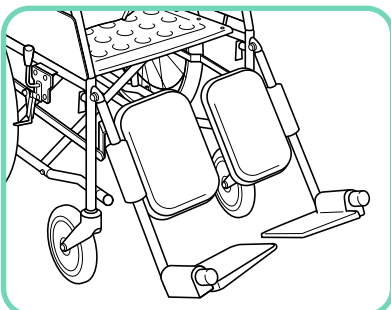
(アームレスト脱着式)



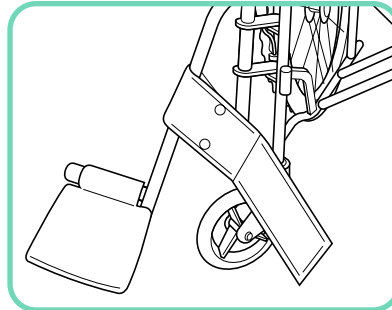
(アームレスト後方跳ね上げ式)



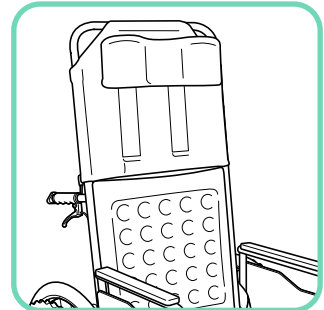
☞ (レッグサポート挙上式)



☞ (レッグサポート開き式)



(バックレストリクライニング式) ☞

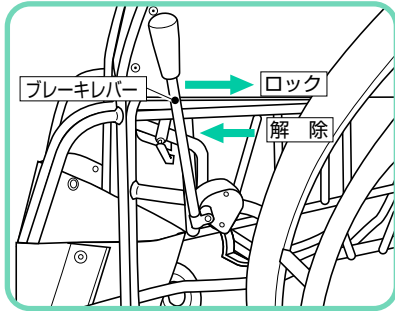


安全にお使いになるための使用方法

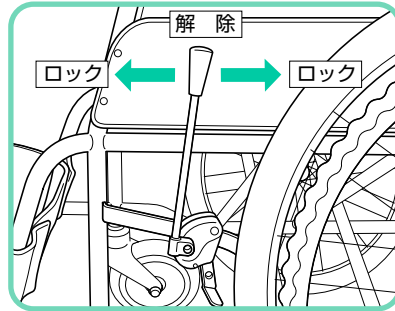
ブレーキの使用方法

- ブレーキレバーを後方に引くとロックします。
- ロックした方向と反対に引くと解除します。

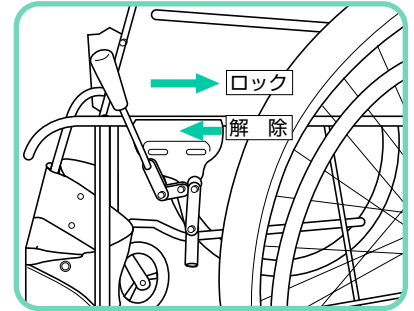
(ミニタックル)



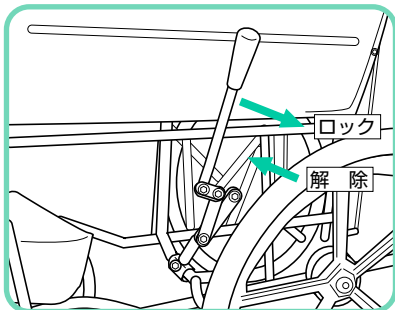
(ミニFBタックル)



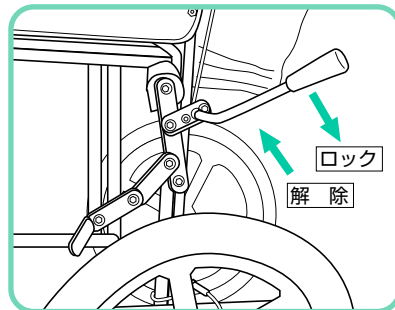
(平タックル)



(介助型樹脂タックル)

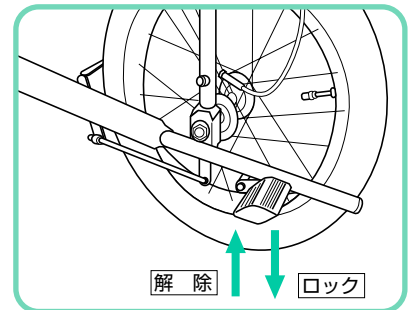


(介助型鉄タックル)



(フットブレーキ)

ペダルを下に倒すとロックします。
ロックした方向と反対に上げると解除します。



警告

- タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。(P.20 ご使用前に参照)
(ブレーキのロックが出来なくなり、車いすが動いたりして、事故の原因となります。)

してはいけない

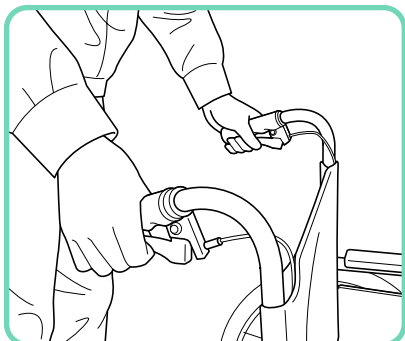
警告

- 車いすに乗る・降りる前や、ベッドへの移乗時には、必ずブレーキをロックしてください。
(車いすが動き、転倒事故の原因となります。)

していただく

(キャリパーブレーキ)

介護者の方が走行中や下り坂での速度減速及び停止に、ご使用ください。



注意

- 介助者の方は、キャリパーレバーを、両側同時にかけてください。
(バランスを崩し、転倒事故の原因となります。)

していただく

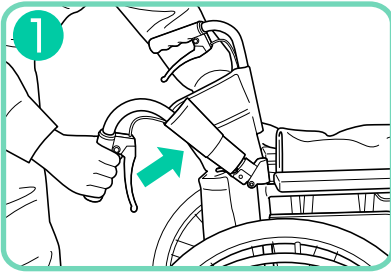
広げ方・折りたたみ方

車いすの広げ方法

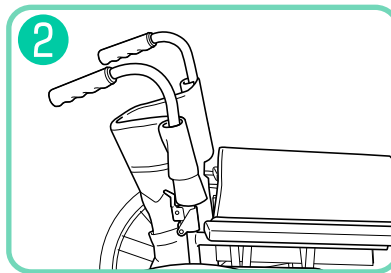
●バックレスト固定の場合は、手順③から行ってください。

*バックレストの折りたたみをおこす時は、車いすを折りたたんだ状態で行ってください。
(広げた状態で行うと、バックシートにバックレストパイプが引っ張られ、ロック出来なくなります。)

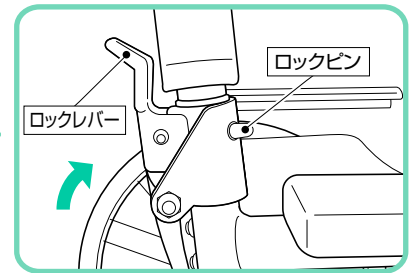
① グリップを持ち、矢印方向に、持ち上げる。



② バックレストを両側起こす。



レバーを矢印方向に起こす。



警告

●バックレスト折りたたみのロックピンが、「カチッ」と音がして、完全に出ているのを確認してください。(転倒の原因となります。)

していただく

警告

●バックレスト折りたたみのロックレバーに、かばんなどを引っ掛けないでください。(ロックが解除され、転倒、転落事故の原因となります。)

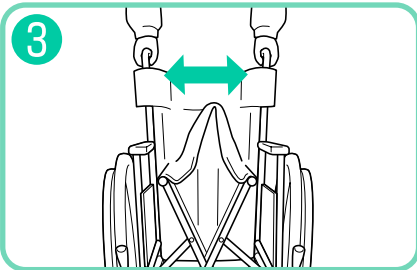
してはいけない

注意

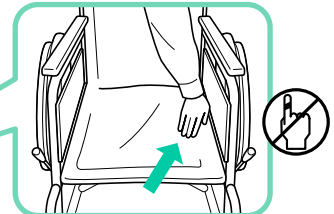
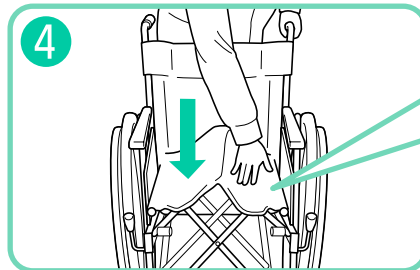
●バックレストに重いものを引っ掛けないでください。(車いすが不安定になり、転倒事故の原因となります。)

してはいけない

③ 車いすの後方に立ち、左右のグリップを持って両側に広げます。



④ 片側のグリップを手で持ち、シートを手で下に押し下げると、シートが広がります。



注意

●車いすを広げる時に、座パイプの横や下に、手や指を入れないでください。(パイプに手や指を挟んでケガをします。)

してはいけない

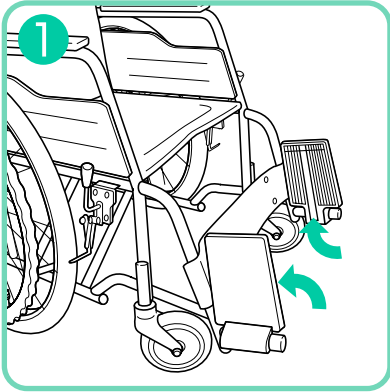
注意

●車いすを広げた時、座パイプが、受けに収まっているか、確認して座ってください。(パイプが曲がったりして、転落事故及び故障の原因になります。)

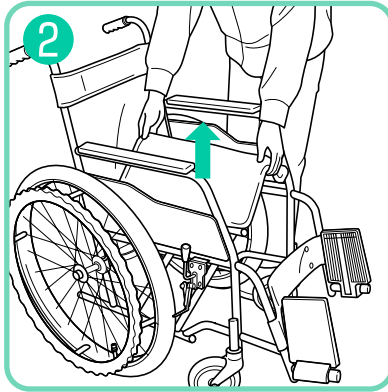
していただく

車いすの折りたたみ方

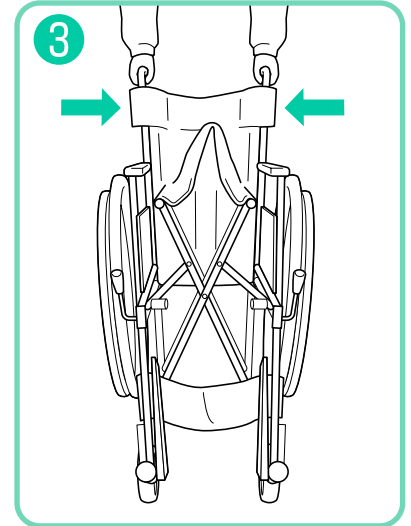
- ① フットプレートを矢印方向に回転させて上げる。



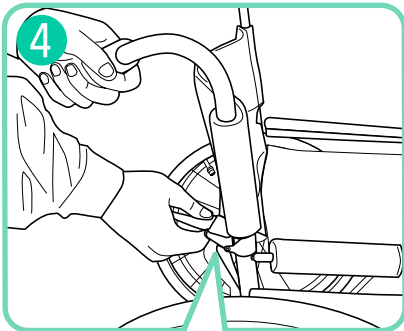
- ② シートの前方と後方の中央を同時に持ち上げる。



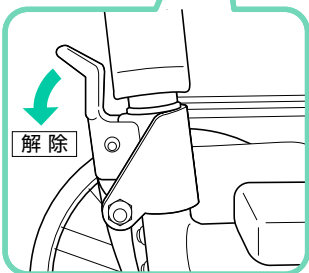
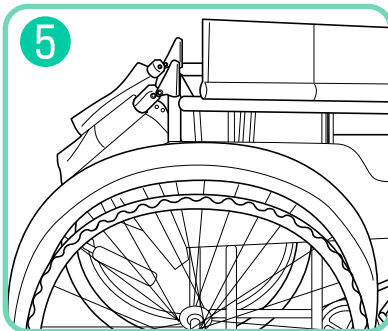
- ③ 左右のグリップを持ち内側にたたむ。



- ④ グリップを片手で持ち、ロックレバーを後方に引きバックレストを倒す。

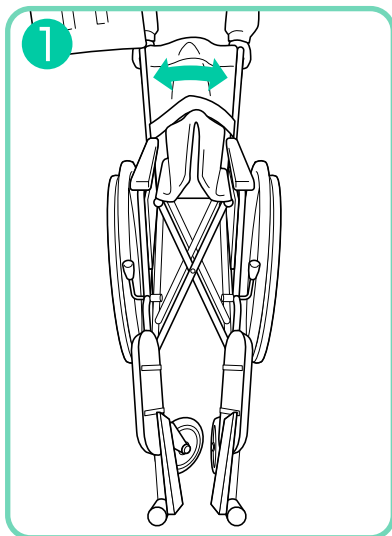


- ⑤ バックレストを両側後方に倒す。

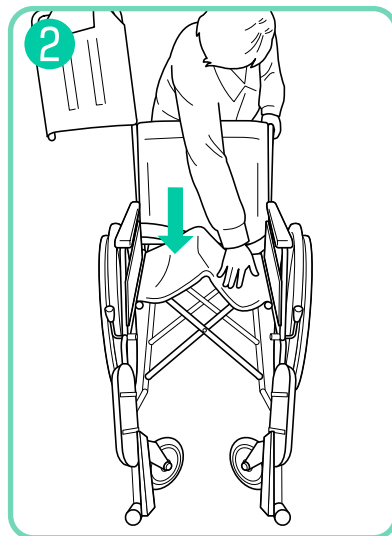


リクライニングタイプの拡げ方法

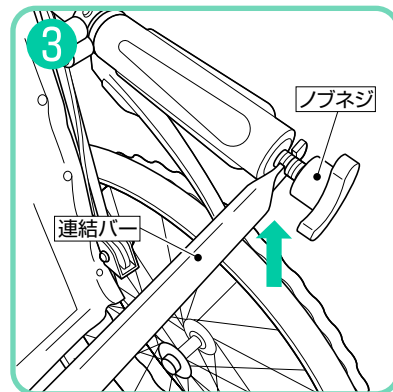
① 車いすの後方に立ち、左右のグリップを持って両側に拡げる。



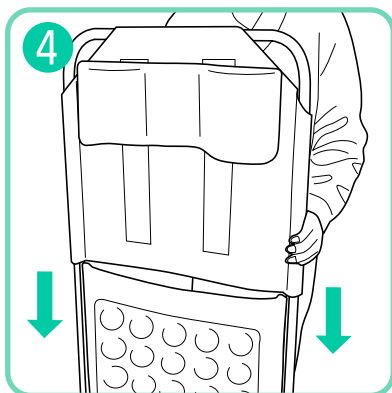
② 片側のグリップを手で持ちシートを手で下に押し下げるとシートが拡がります。



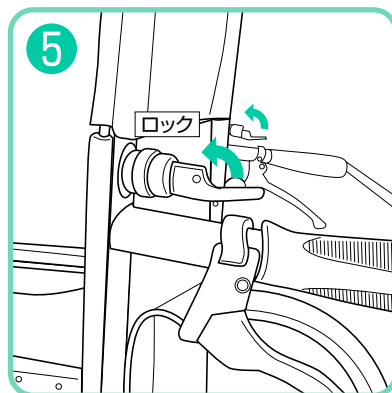
③ 連結バーをノブネジで固定する。



④ ヘッドレストを取り付ける。



⑤ ロックレバーのロックを確認する。



⚠ 注意

●リクライニングの連結バーのノブネジは、確実に固定してください。
(外れて、転倒、転落・事故原因となります。)

していただく

⚠ 注意

●リクライニングのヘッドレストロックを確実にかけてください。
(外れて、転倒、転落・事故原因となります。)

していただく

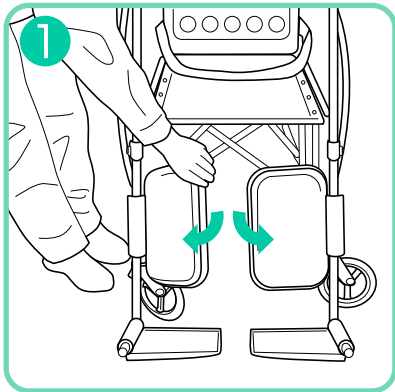
⚠ 注意

●必ずヘッドレストを取り付けてご使用ください。
(パイプ差込口で手や頭にケガをする原因となります。又、フレーム強度が低下し、破損の原因となります。)

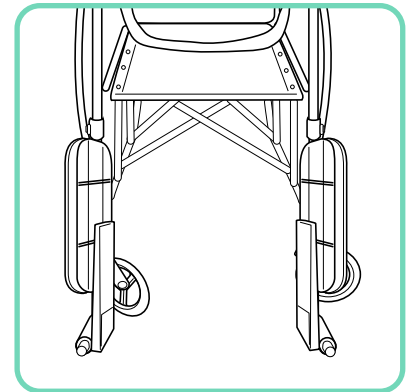
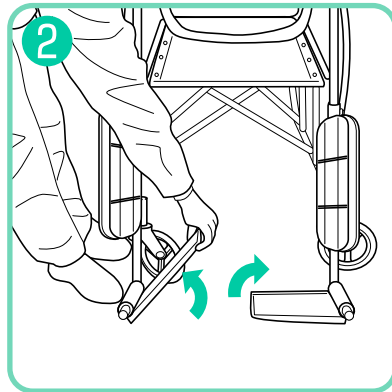
していただく

リクライニングタイプの折りたたみ方法

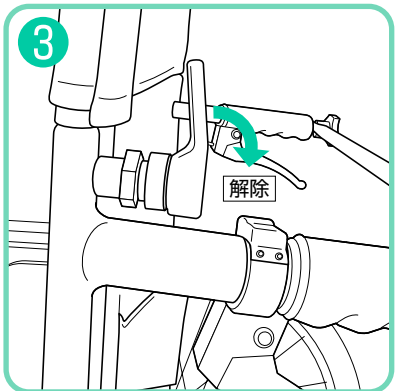
① ふくらはぎパットを回転させ、はね上げる。



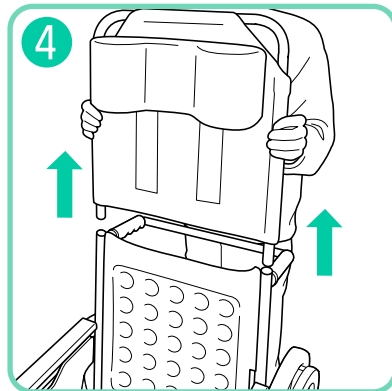
② フットプレートをはね上げる。



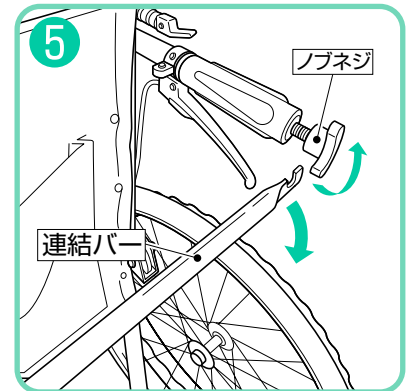
③ ロックレバーを倒す。



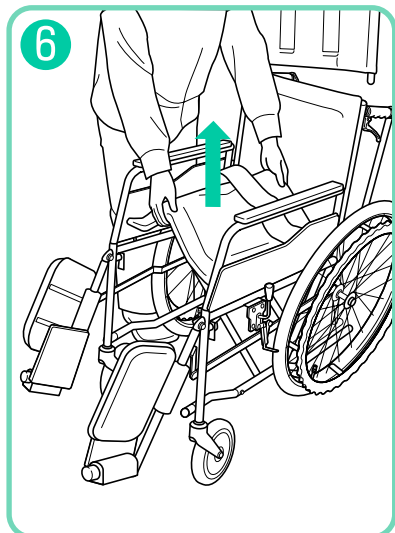
④ ヘッドレストを外す。



⑤ ノブネジを緩め、連結バーを外す。



⑥ シートの前方と後方の中央を同時に持ち上げる。

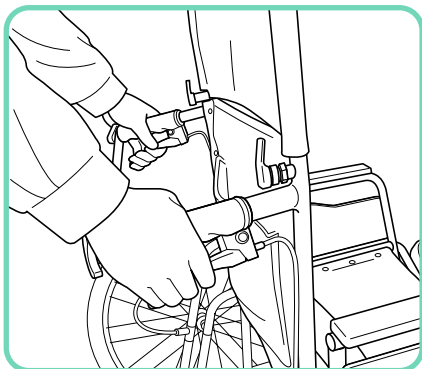


各操作のしかた

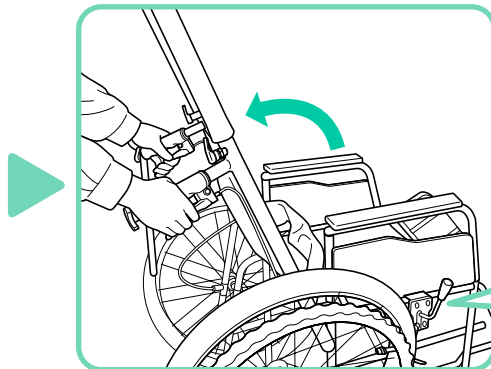
バックレストリクライニング

●バックレストの角度を調整することにより、身体状態に応じて合わせることができます。

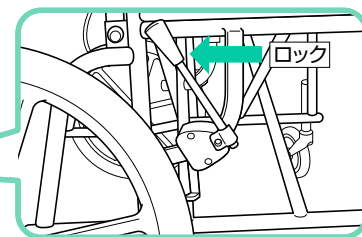
レバーを両側握る。



背もたれ角度を調整し、位置が決まったら、レバーを離す。



【注意】
操作はブレーキをロックして行ってください。



警告

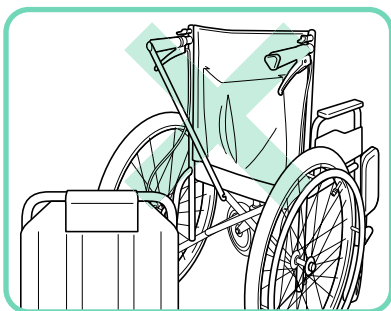
●リクライニングの角度調整をする時は、ブレーキをロックしてください。
(車いすが動いたりして、転倒事故の原因となります。)

していただく

警告

●リクライニングレバーを左右同時に握りながら角度調整してください。
(転倒・転落事故の原因となります。)

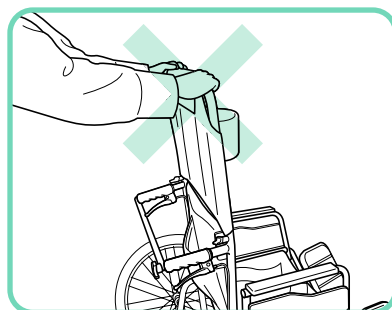
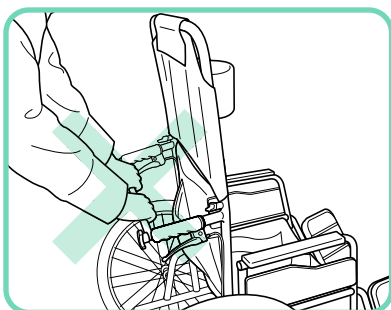
していただく



注意

●リクライニングの連結バーを外したまま、使用しないでください。
●リクライニングのヘッドレストを外したまま、使用しないでください。
(転倒・転落事故の原因となり大変危険です。)

してはいけない



注意

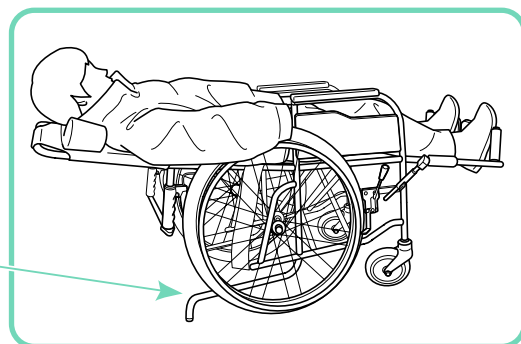
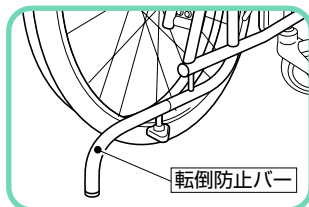
●リクライニング車いすの連結バー・ヘッドレスト部を持って、走行しないでください。
(外れたりして、転倒事故の原因となります。)

してはいけない



- 車いすに使用者が乗っている状態で、リクライニング操作する時は、使用者の体重がバックレストにかかっていますので、介助者はしっかり支えて行ってください。（操作したときに、急にバックレストが倒れパイプで顔などを打ってケガをする恐れがあります。）

- フラット状態で使用する場合は、バランスを崩し後方に転倒する恐れがあります。危険防止のために、転倒防止バー(オプション仕様)をご使用ください。



⚠ 注意

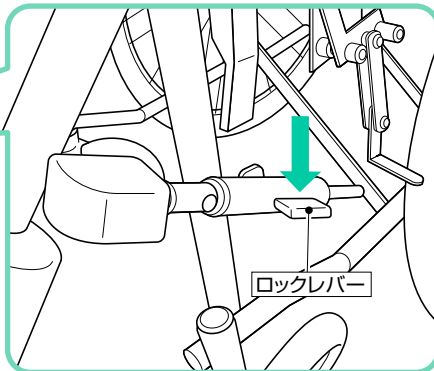
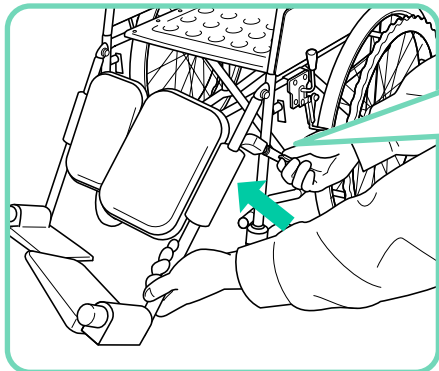
- 介護者の方は、人が乗った状態でリクライニングしたまま、放置しないでください。（バランスを崩し、転倒事故の原因となります。）

してはいけない

レッグサポートエレベーター

- 使用者の身体状態に応じて、角度を調整することができます。

ロックレバーを押した状態で、フットパイプを上げ角度を調整してください。



⚠ 注意

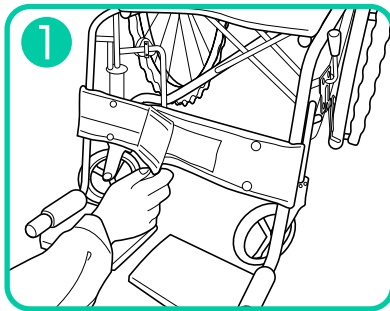
- エレベーターのフットプレートに足が乗った状態で調整する場合は、フットパイプをしっかり支えて行ってください。（ロック解除時に、手をパイプに挟んでケガをする原因となります。）

していただく

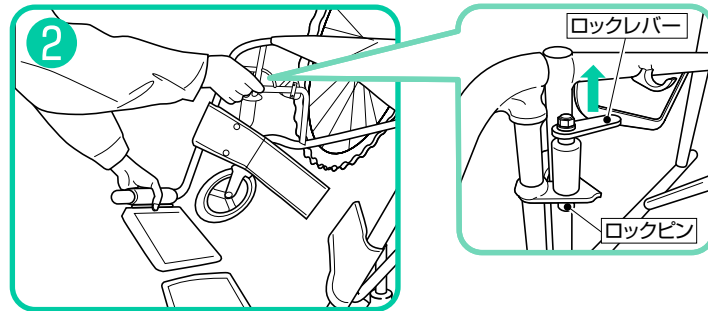
レッグサポートスイングアウト

- スイングアウトしたり、取り外すことにより、トイレ・ベッドへの乗り移りがしやすくなります。又、片足こぎ操作されたりする時は、取り外しすることにより、足元が広くなります。

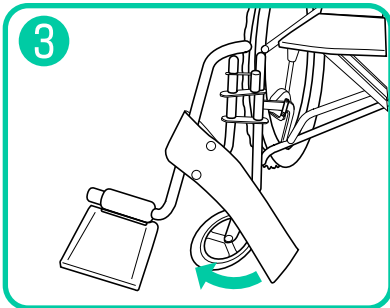
① マジックを外す。



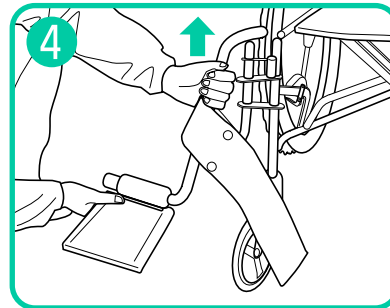
② ロックレバーを引き上げる。



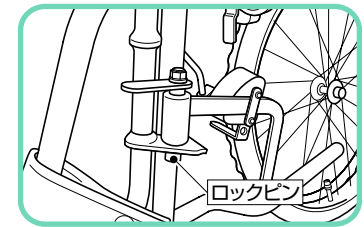
③ フットレストを開くように外側に回転する。



④ フットレストを上を持ち上げ外す。



- 取り付けは、取り外しと逆手順にて行ってください。



⚠ 注意

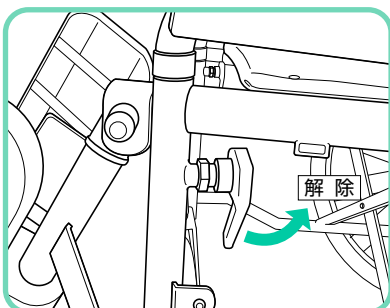
- スイングアウトをもどしたときは、ロックが確実にされているか確認してください。(足を乗せたとき、外れて足をケガする原因となります。)

していただく

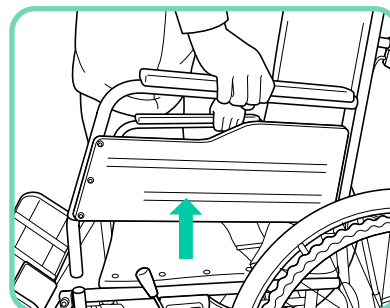
アームレスト取り外し

- 両側のアームレストが取り外しできるので、横からの乗り移りがしやすくなります。

ロックレバーを起こす。



肘掛の中央部を上を持ち上げて外す。



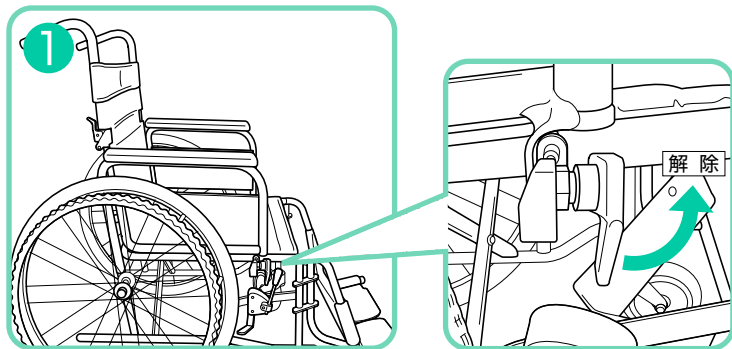
- 取り付けは、取り外しと逆手順にて行ってください。

※前側のパイプから入ると、はめこみやすいです。

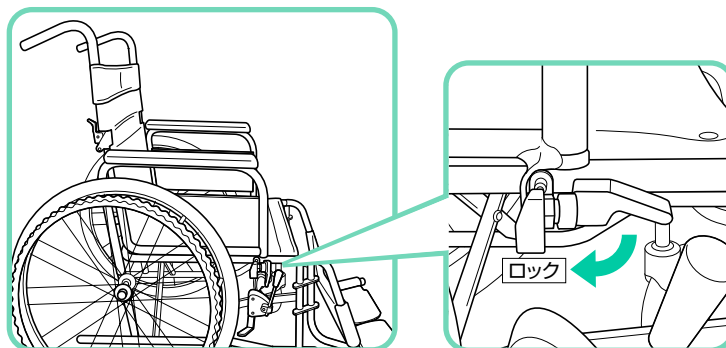
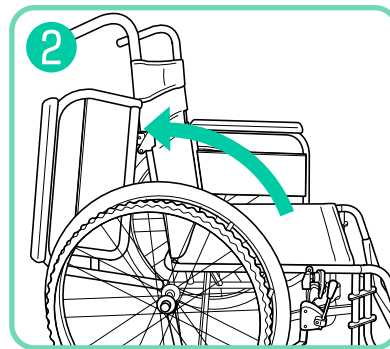
アームレスト跳ね上げタイプ

●両側のアームレストが後方に跳ね上がりますので、横からの乗り移りがしやすくなります。

① ロックレバーを矢印方向に起こす。



② アームレストを後方に上げる。



⚠ 注意

- アームレスト跳ね上げを、もどしたときは、ロックレバーのピンが完全にロックされていることを確認してください。
(転落事故の原因となります。)

していただく

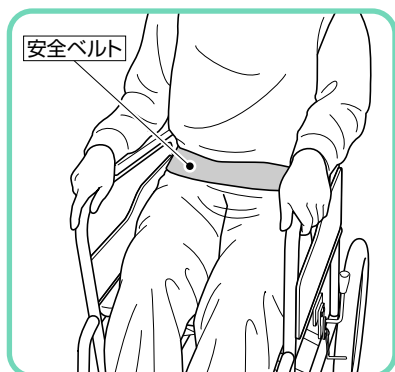
⚠ 注意

- アームレスト脱着・跳ね上げ式の場合は、アームレストを持って、車いすを持ち上げないでください。
(ケガ、転倒、転落・事故原因となります。)

してはいけない

安全ベルト

●使用者が、車いすから転落したり、ずり落ちるのを保護します。



⚠ 注意

●安全ベルト装着機種は、必ずシートベルトを締めてください。
(衝撃などで転落し事故の原因となります。)

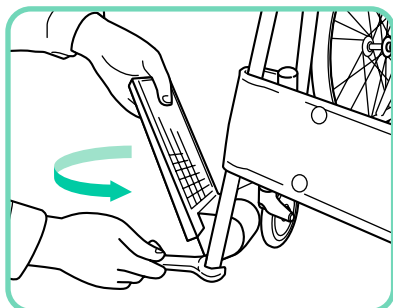
していただく

⚠ 注意

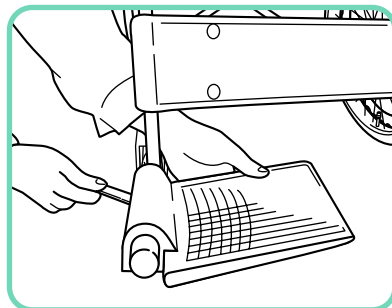
●安全ベルトのマジック式は、糸くずや汚れを取り除いてください。
(粘着力が弱くなり、衝撃を受けた時外れ転落事故原因となります。)

していただく

フットプレートの調整



フットプレートを付属品のスパナにて、先端ボルトを少し動くところまで緩める。

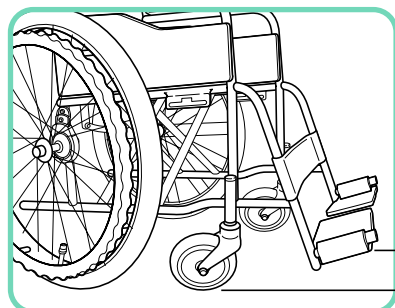


フットプレートを回転し、高さ調整を行い先端ボルトを完全に締める。

⚠ 注意

●フットプレートが固定されているか、確認してから使用してください。
(ステップが脱落し事故の原因になります。)

していただく



⚠ 注意

●フットプレートの高さは地面より5cm以上で
ご使用ください。
(路面の凹凸や障害物にフットプレートが引っかかり
急に車いすが止まり、転倒の事故の原因になります。)

していただく

使用方法

乗り方・降り方



警告

- 車いすに乗る・降りる前や、ベッドへの移乗時には、必ずブレーキをロックしてください。
(車いすが動き、転倒事故の原因となります。)

していただく



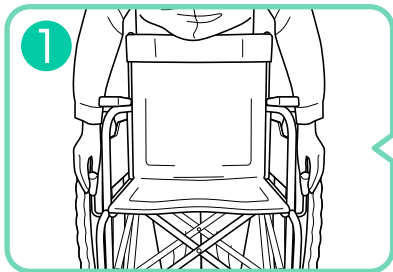
注意

- 車いすの、乗り降りときは、路面の平坦な場所で行ってください。
(車いすが動き、バランスを崩し、転倒・転落事故の原因となります。)

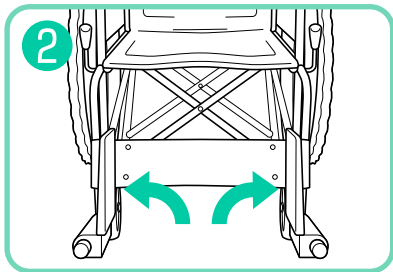
していただく

乗る時

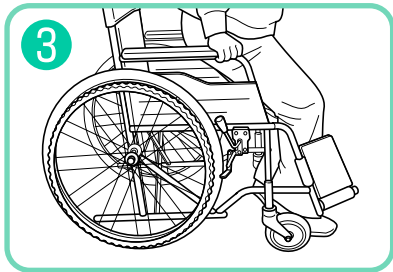
- 1 ブレーキを両側ロックする。



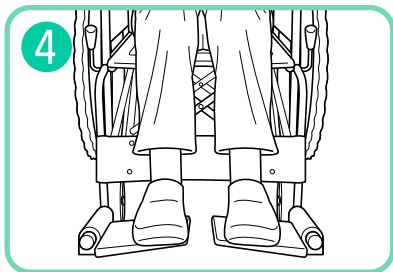
- 2 フットプレートを両側上げる。



- 3 両手で、アームレストを持ちゆっくり座り込む。

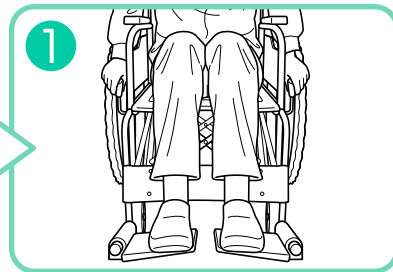


- 4 フットプレートに足を乗せる。

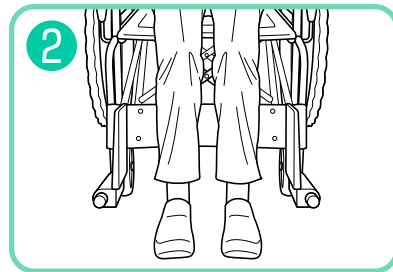


降りる時

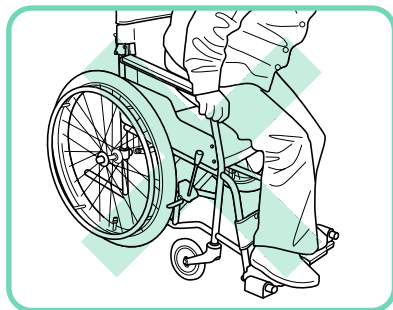
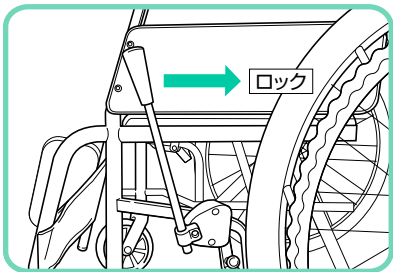
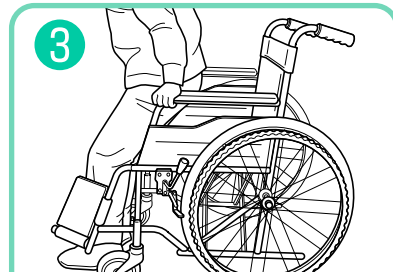
- 1 ブレーキを両側ロックする。



- 2 フットプレートから足を下ろす。



- 3 両手で、アームレストを持ちゆっくり立ち上がる。



警告

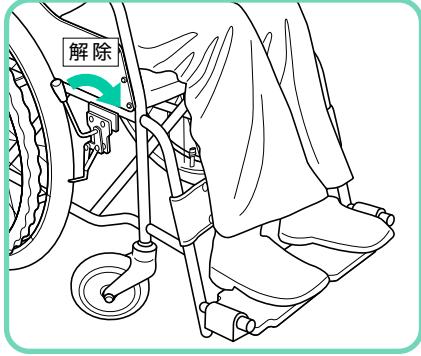
- フットプレートの上に乗って、乗り込んだり、降りるとき上に立ち上がらないでください。
(車いすが、バランスを崩し、転倒事故の原因となります。)

してはいけない

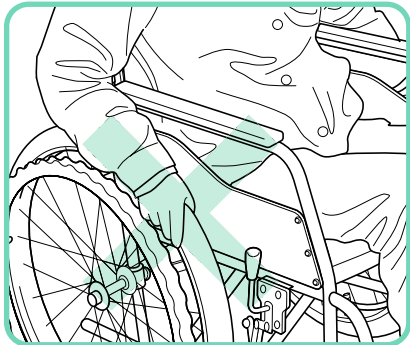
動かし方

(自走用車いすの場合)

ブレーキロックを解除する。



ハンドリングを握り車輪を回転させ移動させる。



注意

- タイヤを持って車いすを操作しないでください。
(ブレーキに手があたり、ゲガをする原因となります。)

してはいけない



注意

- スピードが出ている状態で、素手でハンドリングを持って減速しないでください。
(摩擦で、手にケガをする恐れがあります。
そのようなご使用をされる場合は、車いす用手袋〈オプション仕様〉をご使用ください。)

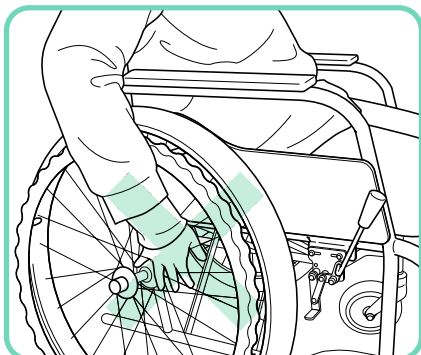
してはいけない



注意

- 走行中、身体を乗り出さないでください。
(バランスが不安定になり、転倒、転落事故の原因となります。)

してはいけない



注意

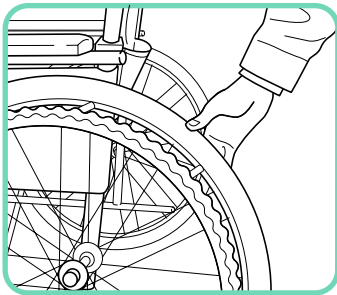
- 車輪が回転しているときは、スポークに手や指を差し込まないでください。
(手や指をはさんで、ケガをする原因となります。)

してはいけない

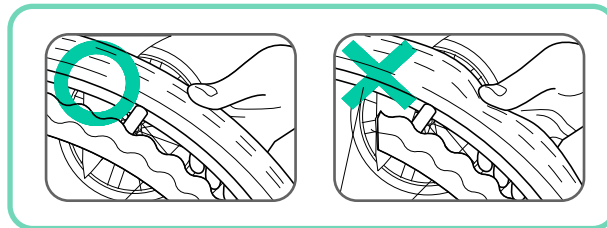
ご使用前に

■ご使用前に、安全にご使用していただく為、次の確認をお願いします。

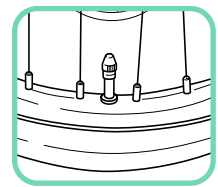
- ・タイヤの磨耗・亀裂はないか。
- ・タイヤの空気圧は、適正に入っているか。
- ・ブレーキに異常はないか。
- ・ブレーキをロックした時、駆動輪・主輪が回転しないか。



タイヤを親指で押し、容易にへこむ場合は、エアーを
自転車用空気入れで補充してください。
(最適空気圧:250~300kpa)



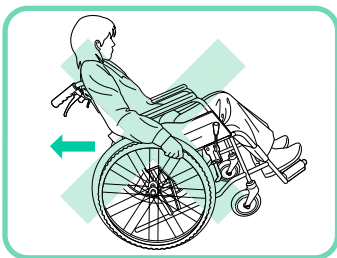
タイヤの空気バルブの
ネジが緩んでいないか
確認してください。



警告

- タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。
(ブレーキのロックが出来なくなり、車いすが動いたりして、事故の原因となります。
また、タイヤのパンクの原因となります。)

してはいけない

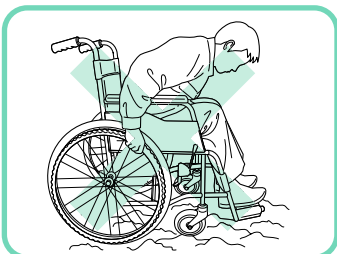


注意

- バックしながら急停車しないでください。
(転倒事故の原因となります。)

してはいけない

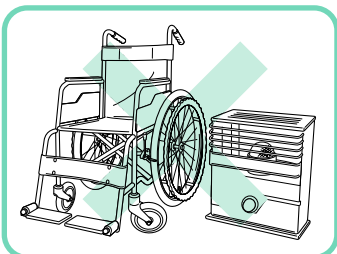
そのようなご使用をされる場合は、オプションの転倒防止をご使用ください。
*転倒防止を装着した場合、乗り越え段差は低くなります。



注意

- 凹凸のある路面で使用するときは、上体を前かがみ姿勢に
ならないでください。
(バランスを崩し、前に転倒して事故の原因となります。)

してはいけない



注意

- 火気の近くに置かないでください。
(タイヤがパンクしたり、シートが燃え火災の原因となります。)

してはいけない

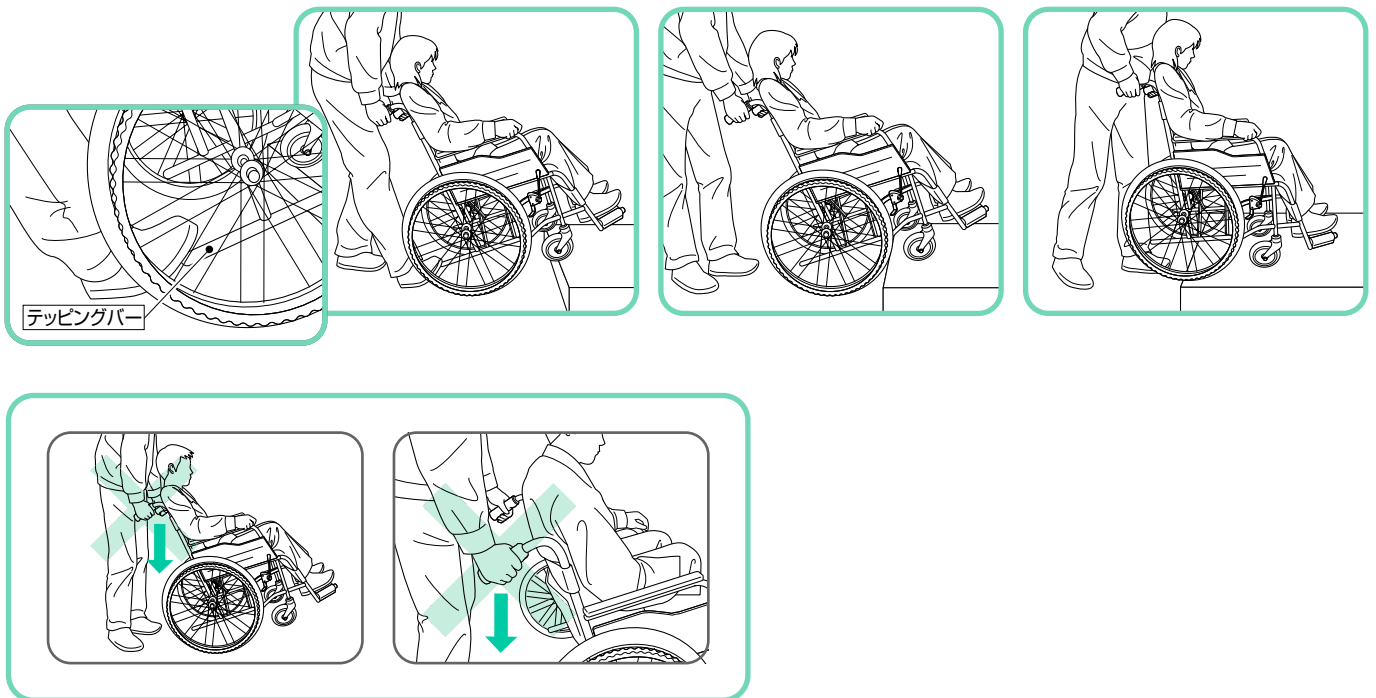
次のような使用場所や環境では、危険が伴う場合がありますので、必ず介助者の方が付き添ってください。

- ・坂道の登り下り
- ・踏切の横断
- ・側溝の格子蓋の横断
- ・悪路
- ・電車への乗車、下車
- ・段差乗り越え
- ・路面が片側に傾斜しているところの走行

介助の仕方

介助者援助をお願いしてください。

介助者のかたは、段差を乗り越える場合は、テッピングバーを踏んでキャスター（前輪）を上げ、段差に乗せてから、後輪を浮かし乗り越えてください。



⚠ 注意

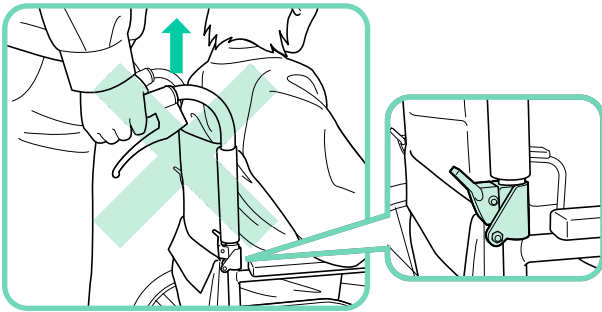
- バックレストパイプのみで、キャスター（前輪）を上げないでください。
（バックレストパイプが曲がったり、折れたりして、転倒して事故の原因となります。）

してはいけない

⚠ 注意

- スピードをつけて、乗り越えようとししないでください。
（使用者が車いすから、転落して事故の原因となります。）

してはいけない



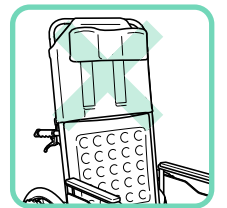
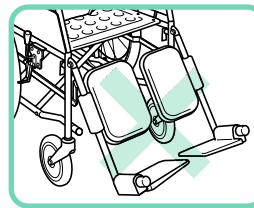
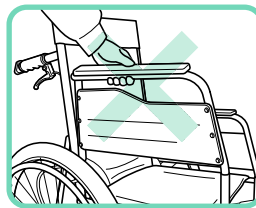
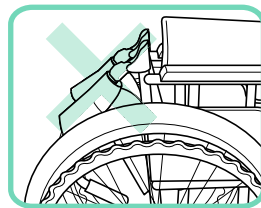
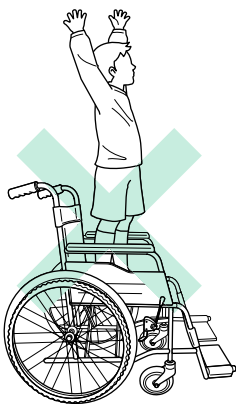
⚠ 注意

- バックレストが折りたたみの場合は、使用者が車いすに乗っている状態でグリップを持って吊り上げないでください。
(パイプが、外れたりして、転倒・転落事故の原因となります。)

してはいけない

車いすを持ち上げようとして次のような箇所は、持たないでください。

- ・バックレストが折りたたみ式のバックレストパイプ部
- ・アームレストが、取り外し式・跳ね上げ式のアームレストパイプ部
- ・レッグサポートが取り外し式のパイプ部
- ・レッグサポートがエレベータリング式のフットパイプ部
- ・バックレストがリクライニング式のバックレストパイプ部



⚠ 注意

- 車いすのシートの上で立ち上がらないでください。
(転倒事故の原因となります。)

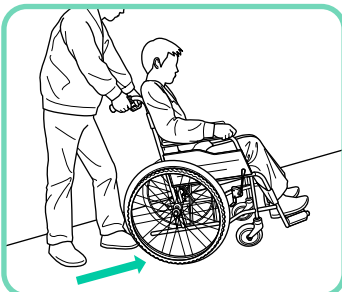
してはいけない

外出時の注意

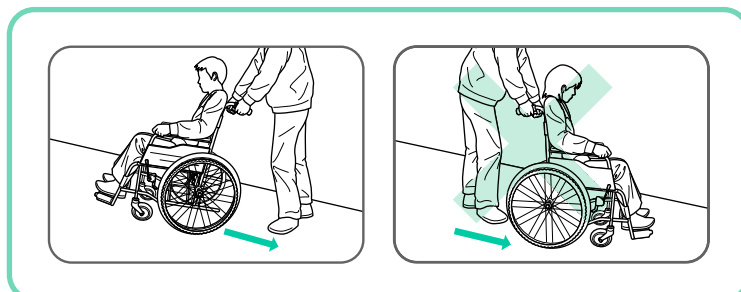
介助者援助をお願いしてください。

坂道の登り下りでご使用される場合は、必ず介助者の方に支えていただいで行ってください。

登り坂



下り坂

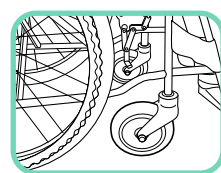
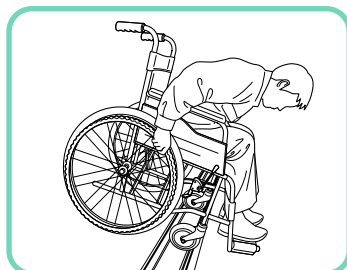
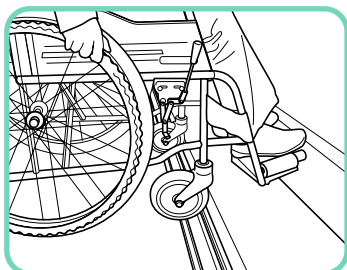
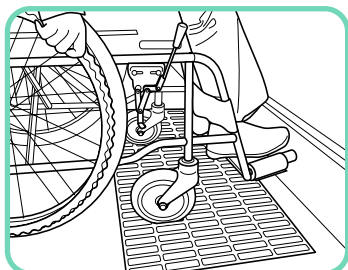


⚠ 注意

- 坂道を下るとき介助者の方は、車いすを後ろ向きでゆっくり確認しながら走行してください。
(前向きで下ると、乗っている人がすり落ちたり、前のめりとなり、転倒事故の原因となります。)

していただく

介助者援助をお願いしてください。



幅広キャスター
(オプション仕様)

警告

●側溝の格子蓋や踏み切りなどでご使用される場合は、必ず介助者の方に支えていただいで行ってください。
(車輪が溝にはまって転倒事故の原因となります。)

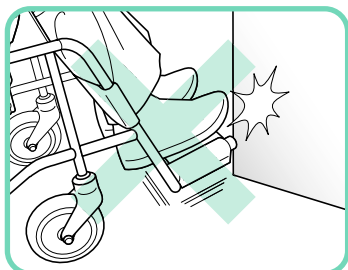
していただく

注意

●側溝の格子蓋、踏み切りのレール溝にキャスターが落ち込まないように注意してください。
(車いすが急に止まり使用者の体が前方に傾き、転落転倒事故の原因となります。このような、環境条件でご使用される場合は、幅広キャスター(オプション仕様)をご使用ください。)

していただく

【介助者の方へ】



注意

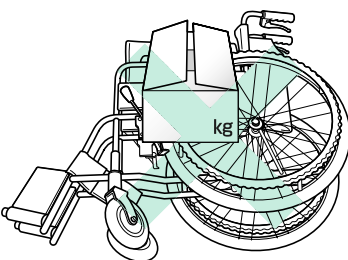
●移動中、つま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。

していただく

注意

●フットプレートに、足が乗っているか確認して走行してください。

していただく



注意

●車いすを、横向きに倒して上に物を置かないでください。
(重みで車輪フレームが、曲がったりして故障の原因となります。)

してはいけない



■階段などで、使用者が乗ったままの状態、介助者に吊り上げてもらう場合

ベースパイプ・バックレストの固定されている箇所を持って、4~5人で支えてもらってください。

もしこんなトラブルが発生したときは

車いすをご使用されていて故障かなど、思うトラブルが発生したら、修理を依頼するまえに下記項目を確認してください。

トラブル	確認点	対処
タイヤのエアが少ない	・タイヤのエアは適正ですか	エアを入れてください
エアを入れてもすぐに抜ける	・タイヤの空気入れ部のネジは、しっかり締まっていますか	しっかり締め直してください
	・ムシゴムが劣化していませんか	むしゴムを交換してください
走行操作が重い	・タイヤの空気圧は適正に入っていますか	エアを入れてください
	・駆動輪・キャストに髪の毛、ビニールが巻きついていませんか	取り除いてください
真っ直ぐ走らない	・キャスト（前輪）が片べりしていませんか	取扱店にご連絡してください
バックレスト折りたたみのロックピンが入らない	・車いすを拡げて、バックレストを折りたたみしていませんか	車いすを折りたたんで、行ってください。
キャリパーブレーキが効かない	・ワイヤーが、ねじれていませんか	ワイヤーのねじれを調整してください。
	・ワイヤーの遊びが多くありませんか	取扱店にご連絡してください
ブレーキが効かない	・タイヤの空気圧は適正に入っていますか	エアを入れてください
	・タイヤは、磨耗していませんか	取扱店にご連絡してください

車いすのお手入れの方法

■清掃は、水につけたタオルを強くしぼり、泥やホコリを拭き取った後に乾いた布で仕上げ拭きをしてください。

揮発性剤（シンナー・ベンジン・アルコール類）では、清掃しないでください。

変色したり、劣化の原因となります。

ホースなどで、直接水をかけないでください。車輪及びフレーム内部・ブレーキ部に水滴が残り、錆の原因となります。

■タイヤの空気圧、最適空気圧：250～300kpaを適正に保ってください。
空気圧が少ないときは、補充してください。

■タイヤには、クラックを防ぐ為に老化防止剤が配合されていますので、次のような環境及び薬剤はさけてください。タイヤの劣化を促進させ、ひび割れの発生原因となります。

- オゾン (O₃)
- 光線(日光)、熱・伸張等の機械的作用。
- 銅・マンガンのような金属の塩、石鹼などの容易に酸化される物質。
- シリコン系ワックス（自動車タイヤ用ツヤ出し剤、潤滑剤（錆落とし含む））。

■車いすに異常がある場合は、取扱店で、点検・修理をおこなってください。
その状態で使用されますと、使用中に破損し、事故の原因となります。

- タイヤの劣化・クラック・エア漏れ
- 各部固定部品の変形
- ボルト・ナット・ビスの緩み
- フレームのクラック・曲がり・ガタツキ
- 駆動輪・キャストの変形
- キャリパーブレーキ・ブレーキのきき具合

保管場所

次のようなところでは、保管しないでください。
故障の原因となります。

- 雨に濡れるようなところ
- 直射日光が当たるようなところ
- 湿気の多いところ
- 高温室になる場所
- 炎天下な場所

保証

- 保証期間は、お買上げ後1カ年です。(本体、付属品共)
ただし、次の場合は、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
 1. 火災、天災による故障・損傷の場合
 2. 取扱説明書に記載の使用方法、ご注意に反するお取扱いによって発生した故障の場合
 3. 無断仕様変更及び、改造による故障の場合
 4. タイヤの磨耗、パンク、シートのやぶれ、ブレーキ、リクライニング用ワイヤー、ブレーキゴム等の消耗品、及び各部の劣化による故障、損傷の場合
 5. 修理に要した運賃等の諸経費
 6. この保証書は日本国内のみ有効です。

アフターサービス

万一故障の場合は、お買上げいただきました販売店、または松永製作所へ保証書ご持参の上、修理をお申しつけください。

SGマークについて

- SGマーク制度は、車いすの欠陥によって発生した人身事故に対する賠償制度です。
- 車いすに表示してある使用者最大体重は、積載物も含んだ重さであり、体重制限を守って使用してください。



製品安全協会

【SGマークつき製品の特長】

- 安全性が確保されています。
- 誤使用を防ぐために取扱説明書がついています。
- SGマークつき製品の欠陥により、人身事故が起きた場合は、賠償措置を実施します。



株式会社 松永製作所

〒503-1272 岐阜県養老郡養老町大場484

TEL0584-35-1180(代) FAX0584-35-1270

URL <http://www.matsunaga-w.co.jp>



古紙配合率100%の再生紙を使用しています。